

うおきりけいこく  
(4) 魚切溪谷県自然環境保全地域 (昭和49年7月18日指定)

○所在：神石郡神石高原町有木 ○面積：72.96ヘクタール

この地域は、岡山県境にほぼ隣接し、東城川の支川をなす仁吾川が、吉備高原面を浸食して見事な溪谷をなし、石灰岩を中心とする古生層の岸壁と多彩な植物相が一体となって、良好な自然環境を形成しています。

この溪谷には、四季を通じて比較的水量の豊富な落差20メートルの三段滝と豪快な魚切滝の二つの滝があり、それを取り巻く特色ある天然林が一体となって、近郷では比類のない景観を見せています。

また、この地域は深い峡谷地形であるため、植物相は極めて豊富で、岩峰にはアカマツ林が優先し、溪谷斜面には若令の天然林が主体を成しています。

河床にはツルヨシ群落が見られ、サワグルミ、ケヤキなどが河岸植生を特徴づけ、滝口付近には、アラカシ、ウラジログシの常緑広葉樹が群生しています。

溪流には、ハヤやドロハエをはじめ多くの魚類が生息しています。流れを求めて去来し、山地溪谷を生息地とする野生鳥獣もたくさんいます。その他昆虫類、陸生貝類などの多種類の小動物の生息が確認されています。

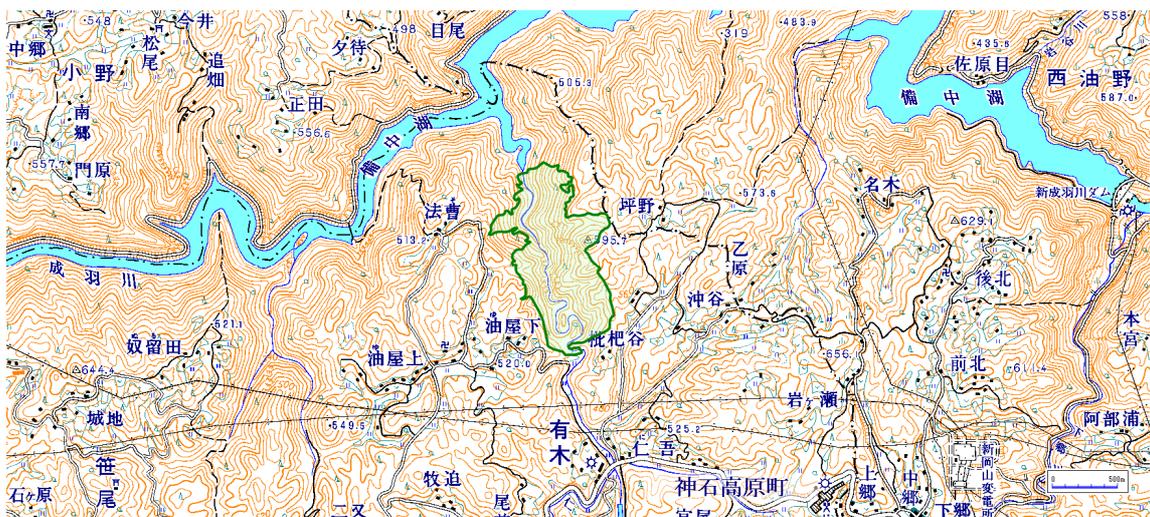
魚切滝は、旧豊松村の集落から近かったため、昔から地元住民の憩いの場とされてきました。また、「なまこ岩」や「犬返し」の地名は、自然そのものを象徴しており、自然環境は破壊されずに今日まで継承されています。



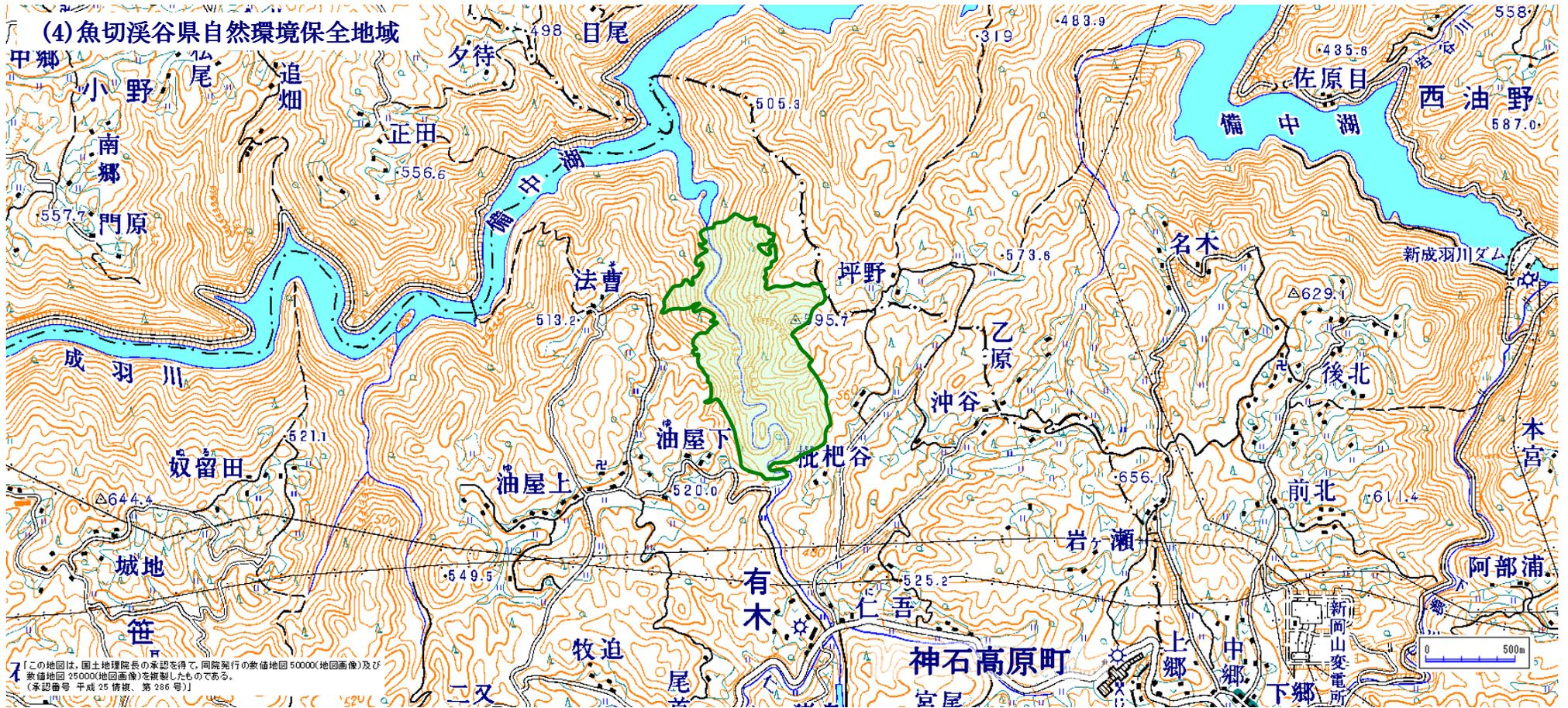
魚切滝



溪谷の豊かな天然林



(4) 魚切溪谷県自然環境保全地域



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。  
(承認番号 平成25 情保、第286号)